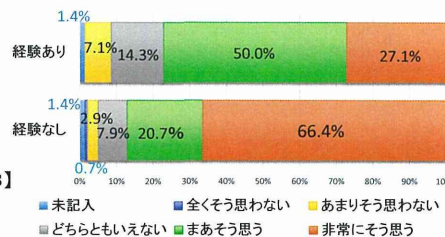
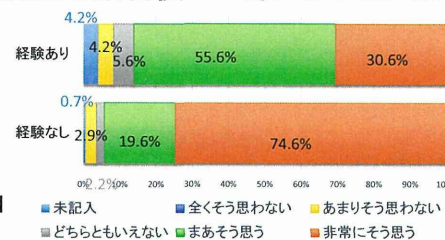


### ◆4週間指示通りに服用できたと思うか



【図3】 n=210

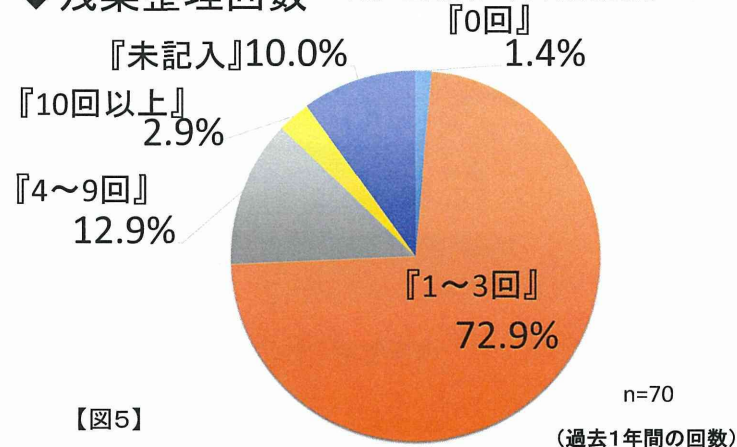
### ◆薬の服用は生活習慣の一部になっていると思うか



【図4】 n=210

### 結果③〈残薬整理経験ありのみ〉

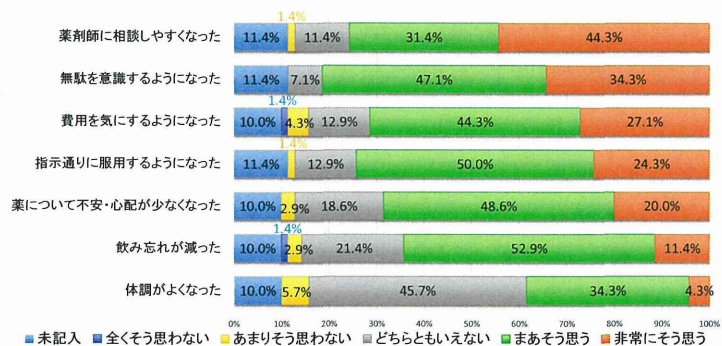
### ◆残薬整理回数 対象:全回答者のうち、残薬経験者のみ



【図5】

n=70  
(過去1年間の回数)

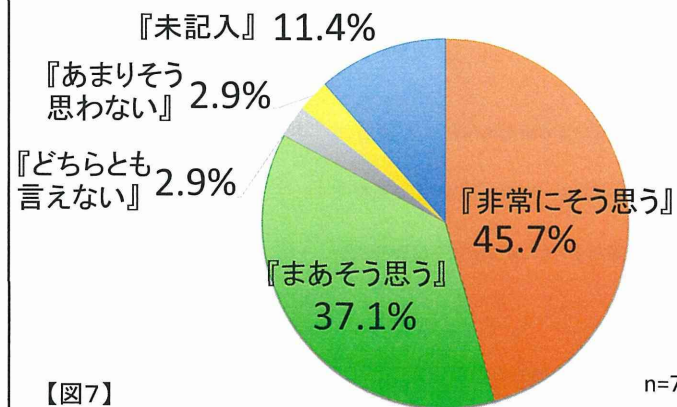
### ◆残薬調整後の変化



【図6】

n=70

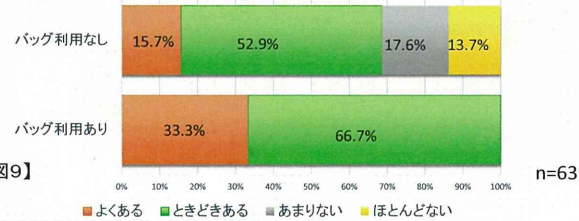
### ◆今後薬剤師に相談したいか



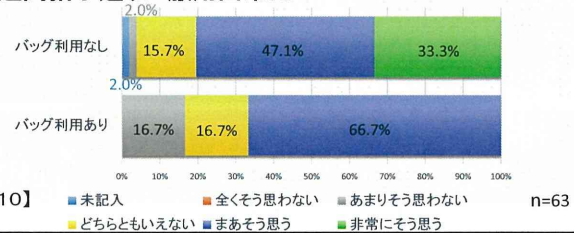
【図7】

n=70

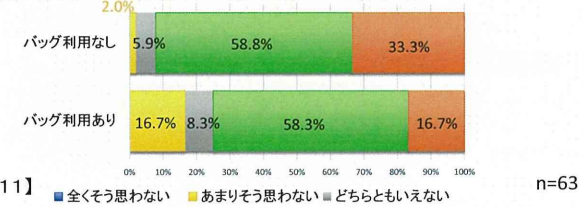
### ◆薬が余ってしまうことがあるか



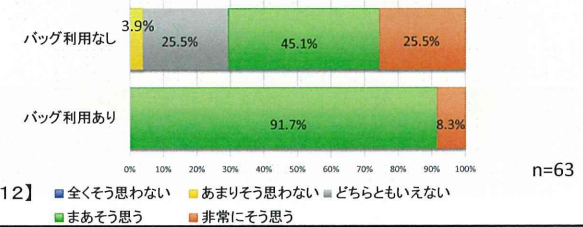
### ◆4週間指示通りに服用出来た



### ◆薬の服用は生活習慣の一部になっている



### ◆不安・心配が少なくなった(残薬整理経験後)



## 考察

### 《残薬整理経験者の特徴》

- ◆残薬整理経験者は回答者全体の**33.0%**であった。
- ◆1年以上処方されている薬がある人の割合が多い。
- ◆残薬整理経験なしの人と比較して、4週間指示通りに服用している・生活の一部になっているという項目に対し、「非常にそう思う」と回答した人が**少なかった**。

残薬整理経験者は特に**女性が多く薬の数が多い**。

残薬経験者は服薬アドヒアランスが低下していると考えられる。

- ◆また、残薬整理経験がない人でも、余りが「よくある」「ときどきある」と回答した人が**34.2%**であった。

残薬整理経験がない人でも、**残薬整理の対象に該当する可能性**が考えられる。今後、**残薬整理経験がない人へも残薬確認・及び整理を行ない、患者の治療に寄り添っていく必要がある。**

### 《残薬整理経験者》

- ◆残薬整理回数が**4回以上**の人が**15.8%**であり、残薬整理を行っても改善していない人がいる。
- ◆残薬整理により、意識や行動に変化があった人が多い。
- ◆「薬剤師に相談しやすくなった」「無駄を意識するようになった」「費用を気にするようになった」という項目に対し、「非常にそう思う」と回答した人が**多い**。
- ◆「今後薬剤師に相談したいか」の項目では、「非常にそう思う」「まあそう思う」と回答した人が合わせて**82.8%**いた。

残薬整理は、**薬剤師に相談しやすくなるきっかけ**になった可能性も考えられる。  
残薬整理により、患者が薬を服用できるようになることだけでは**ない効果が示唆される。**

### 《残薬整理経験者》

- ◆ バッグ利用者は、4週間指示通りに服用できているかという項目に対して、「非常にそう思っている」が少なかった。
- ◆ 不安・心配が少なくなった人が「非常にそう思う」「まあそう思う」と回答した人を合わせると100%であった。



バッグ利用者は、残薬整理経験者の中でも特に服薬状況が悪いと考えられる。また、バッグを利用することで、**薬剤師とのコミュニケーション**が増え、**患者の意識**にも変化が現れていると考えられる。

## おくすり整理そだんバッグ事業 ＜バッグの活用～新たな試みについて＞

- ① 在宅での連携ツールとして  
ハングバッグ運動→残薬やお薬手帳を入れて保管  
見えやすい場所に掛ける  
緊急時の情報伝達、多職種連携の手段
- ② 薬薬連携のツール  
入院時の持参薬の整理に利用することで、  
入院時や退院後の薬物療法をスムーズに

### おくすり整理そだんバッグ事業 バッグの活用①在宅での連絡ツール



### おくすり整理そだんバッグ事業 バッグの活用①在宅での連絡ツール



# 在宅医療を見据えた 新しい薬薬連携

おくすり整理そうだんバッグ事業

～薬薬連携を中心に～

在宅医療の普及、進展に伴い  
今後は医療度の高い患者さんが在宅へ

病院・薬局薬剤師の役割  
入院時・退院時の薬物療法をスムーズにつなげる

薬局の日常業務の中で、、、

○しばらく来局されなかった外来患者さん。  
…実は 入院されていた。薬が変更になって戻ってこられた。  
→ 経過は？ 薬物療法の内容は？ 予後は？

一方、病院の薬剤部では、、、

○初めての患者さん。持参薬は持ってきてくれたけど…。  
→ この薬、いつのもの？ コンプライアンスは？

現状として、病院では  
入院患者の持参薬の整理に大変な時間と労力

入院時

- 自宅にある薬を患者さんが全部持ってくることも  
→ 現在服用中の薬かどうか、  
コンプライアンスはどうか、などの確認が必要
- 薬の鑑定  
→ 非採用薬や一包化された錠剤や散剤、  
ジェネリックの鑑別など

かかりつけ薬局で対応、情報提供

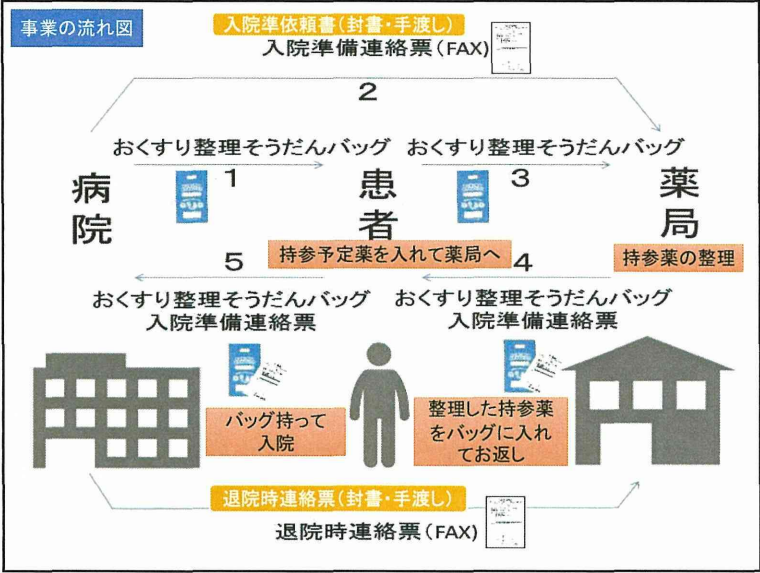
外来→入院への薬物療法がスムーズに

退院時

病院から薬局へ退院時の情報提供  
退院→外来への薬物療法もスムーズに

シームレスな連携が可能

なによりも  
患者さんの利益につながります



### 入院準備連絡票

【病院担当者 氏 かかりつけ薬局 薬局 患者様 氏名 入院時 病院担当者】

患者氏名 生年月日

入院予定日 年 月 日 (入院予定日数 日)

手術(検査)予定 有り・無し・未定

薬局訪問予定日 年 月 日・未定

希望対応  お薬手帳持参指示  
 薬情報付希望  
 持参薬整理・情報提供(一包化情報含む)  
 その他:備考

薬局回答

担当者 TEL: FAX:

病院名 部署

担当者 TEL: FAX:

【病院担当有様連絡】  入院準備連絡票印刷  
 情報提供の同意

### 退院時連絡票

【病院担当者 氏 かかりつけ薬局】

患者氏名 生年月日

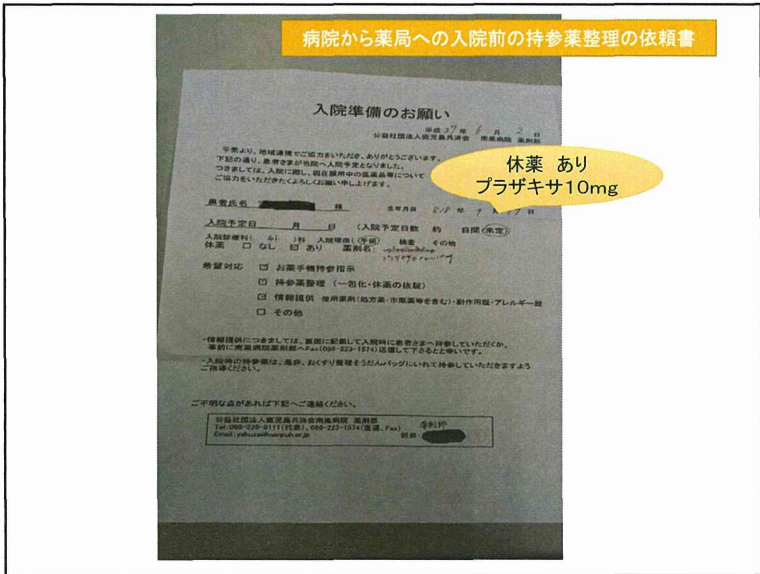
入院日 年 月 日 ~ 年 月 日 (入院日数 日)

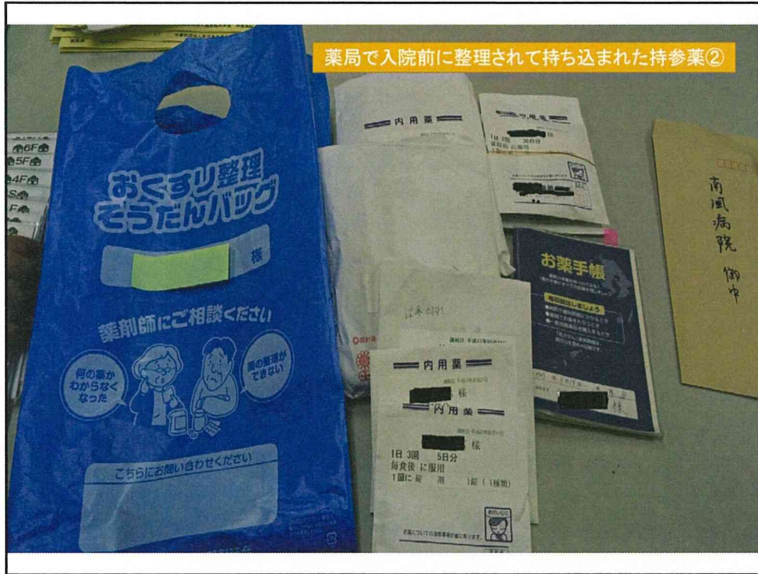
手術(検査) 有り・無し・不明

患者概要(入院時処方内容、退院処方内容、薬剤師等)

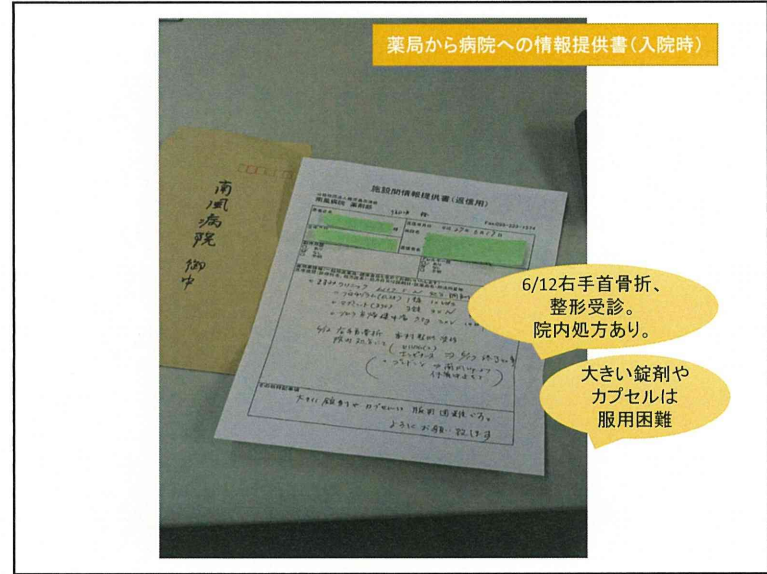
病院名 部署

担当者 TEL: FAX:





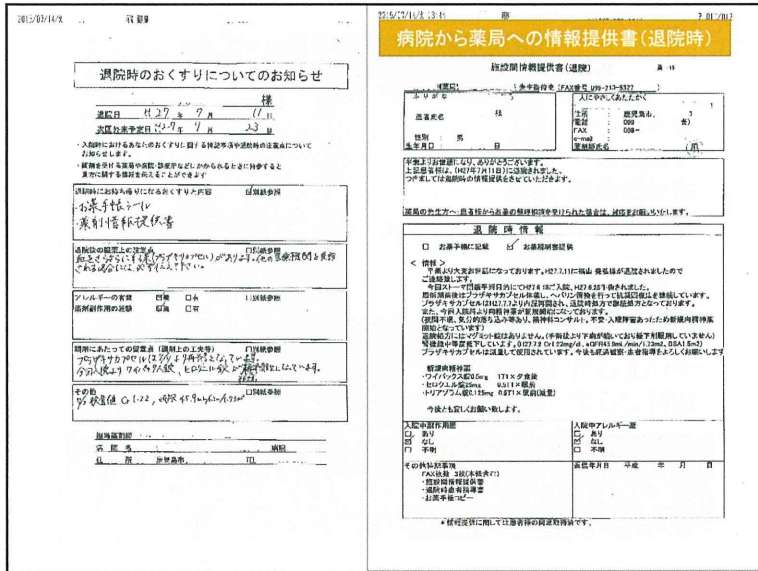
薬局で入院前に整理されて持ち込まれた持参薬②



薬局から病院への情報提供書(入院時)

6/12右手首骨折、  
整形受診。  
院内処方あり。

大きい錠剤や  
カプセルは  
服用困難



病院から薬局への情報提供書(退院時)

薬局薬剤師の声

- ・患者の入院時の経過や処方の変更点、検査値などの情報を退院時にいただき、**非常に有効**であった。今後もこのような取り組みを**積極的に推進**してほしい。
- ・病院と薬局の入院準備連絡のやり取りは患者にとっても有用であることが多いと考えるが、**入院前に患者が薬局に薬を持参しなければならない**、**ということを患者に理解**してもらうことが難しい。

病院薬剤師の声

- ・入院中の**持参薬利用がしやすく**、初回面談へつなげやすい
- ・一包化の中で**休薬の薬があった場合でも抜錠**していただけるので、患者が**きちんと休薬**できた。
- ・入院前に薬局で整理してもらうことで、患者の術前の休薬に対する**不安が軽減**されたケースがあった
- ・用法用量が不明の薬の**持ち込みが少なくなった**
- ・患者が**薬局に行くタイミングがあわない**
- ・今後も**積極的に取り組みたい**

NEW

## おくすり整理そうだんバッグ



よりご利用  
しやすいよ  
う一部デザ  
インを変更  
しました

今後とも残  
薬整理事業  
へのご協力  
よろしくお  
願いいたし  
ます

## 新しい薬薬連携 ～薬剤師にできること～

患者さんを中心に

薬を通して

在宅を視野に入れた

新しい薬薬連携

病院薬剤師・薬局薬剤師が直接つながること



ご清聴ありがとうございました

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表



研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

論文

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
なし					

